



井沢元彦さんと杉本市長の肘タッチ

### 「大河ドラマ誘致」を力強く宣言

#### ■田沼意次侯銅像建立記念講演

市相良総合センターい〜らで12月19日、『逆説の日本史』など知られる作家で歴史研究家の井沢元彦さんを講師に招き、5月の田沼意次侯銅像建立を記念した講演会が開催されました。

井沢さんは、独自の歴史観や推理、歴史的背景を交えて、意次侯失脚の原因や作り上げられた悪いイメージについて講演。講演後、杉本基久雄市長が大河ドラマの誘致を宣言しました。井沢さんの応援メッセージのあと、井沢さんと市長は握手の代わりに肘タッチを交わしました。

### 食・歯・環境について楽しく学ぶ

#### ■食育×歯科×環境コラボイベント

ミルクウェイスクエア（波津区）内のオープンスペースで12月12日、「食育フェア」「マキノ『歯』フェスタ」「環境フェア」が同時開催されました。会場では、市食推協の皆さんによる調理デモや野菜当てゲーム、歯に関するクイズ、「歯みんぐ」の皆さんによる寸劇、環境に関するアニメ映画の上映など、さまざまな内容のブースなどが出展。また、会場を回ってクイズに答えると景品がもらえるクイズラリーも行われ、来場者は楽しみながら食・歯・環境について学びました。



野菜当てゲームを楽しむ来場者

### 地域の未来を担う人材育成

#### ■地域リーダー育成プロジェクト発表会

12月21日、榛原庁舎4階会議室で「地域リーダー育成プロジェクト発表会」が行われました。

本年度6回目、最後の開催となるこの日は、参加した相良高校、榛原高校から各2チームが、このプロジェクトに参加しての振り返りや感想を共有。また、牧之原市の未来について、各チームが地域課題を分析し、その課題解決に向けた取り組みへの提案を発表しました。

発表会の終了後、参加した生徒は、杉本市長から修了証を1人ずつ手渡されました。



「私たちが考える未来」について発表する生徒



クリームを絞ってケーキを飾り付ける親子

### 親子でクリスマスケーキ作りに挑戦

#### ■家庭教育学級ケーキ作り

地頭方幼稚園で12月14日、3歳児クラスの親子12人がケーキ作りに取り組みました。

これは、家庭教育学級の一環として開催されたもので、参加した親子は、講師の鈴木一弘さん（扇松堂菓子店）からクリーム硬さや塗り方、絞り方などのアドバイスを受けながら、長方形のクリスマスケーキ作りに挑戦。クリームや果物の誘惑に負けて味見をする園児が続出する中、親子で協力して完成させたケーキは、それぞれ家に持ち帰り、家族で味わいました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。  
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

ズームイン！  
カシャ！！



段ボールベッドの使い方を確認する参加者

### 防災力 高めて広がる 地域の輪

#### ■牧之原市地域防災訓練

12月5日、市内各所で地域防災訓練が実施され、自主防災会が主催する訓練などに市民1万5023人が参加しました。

川崎区では、榛原中学校体育館を会場に避難所開設訓練を実施。町内会ごとに参加者が役割分担し、実際に段ボールベッドやパーテーションなどを組み立てる工程を確認しました。

また同校剣道場では、市障害者自立支援ネットワーク「防災部会」が、障がいがある人を対象に「避難場所生活体験」を開催。板段ボールでの居住スペース作りなどを通して、障がいがある人が避難所生活をする上での課題を洗い出したほか、東日本大震災の際に現地で対応した市社協職員による勉強会も行われました。

### いこつとにサンタがやってきた！

#### ■図書交流館いこつと クリスマスイベント

図書交流館いこつと（波津区）では、12月中旬からクリスマスにかけての週末に、サンタクロースによるさまざまな催しを開催しました。

午前と午後1時間ずつやってきたサンタクロースは、自らが選んだ本の貸出サービスや、「メリークリスマス」の呼びかけで缶バッジをプレゼントするサービスなどを行いました。また、不定期でサンタクロースによる紙芝居や絵本の読み聞かせも行われ、居合わせた子どもたちは、クリスマスにまつわるお話を楽しみました。



サンタクロースによる読み聞かせを楽しむ子どもたち



解体工事現場と重機の前で記念撮影をする園児ら

### 大迫力の大型重機を間近で見学

#### ■はたらくくるま見学会

相良公民館の解体工事現場で12月6日、施工業者の株式会社ハイナンが「はたらくくるま見学会」を開催し、すすき幼稚園の園児らを招待しました。

園児らはまず、実際に重機で解体作業をする様子を見学。大きな重機が轟音を立てながら建物を解体する様子に、目を輝かせて歓声を上げていました。その後、ショベルカーの運転席に一人ずつ乗せてもらい、記念撮影をした園児は「運転席が高くて楽しかった」「操縦席がかっこよかった」と満面の笑顔で話しました。